

中学校生活の中で身につけたいのは、

将来に向けての**[生き方の土台]=[学ぶ姿勢と努力する姿勢]**

3年生になって2週間ほど経ちました。さて、3年生になったみなさんには、ぜひ次のことを心に留めて生活してほしいと思います。

義務教育の9年間は、社会に出て生活するために必要な「知識や技能」、「考え方や学び方」、「人間関係の築き方」などを学ぶ時期だと言われています。また、表現を変えて「これからどんな進路先に進むとしても、これまでに学んできたことがきちんと身につけていなければやっていけない」とも言われています。

特につらいことにも立ち向かう気持ちや新しいことを学びとる力がないと必ずまわりについていけなくなってしまうと思います。進学・就職を問わずどこに進んだとしても、そこで学ぼうとする姿勢や努力しようとする姿勢が絶対に必要です。これは高校や大学に通っている間や若いうちだけのことでなく、生涯を通して必要な「生きていくための土台となる力、生活を維持していく力」だと考えられます。自分の弱い点を克服し、目標をもって強い意志で努力することができるようになっていかないと、生涯にわたって怠けもので向上心のない人間になってしまうということだと思います。

人間の成長過程のうちで、実際に自分なりの目標をもったり将来のことを意識したりして努力することができるようになるのが、ちょうどみなさんの中学生の年代です。今が努力する姿勢を身につける時期であり、自分の意志で頑張っていくことができるようになる時期なのです。将来に向けて、いろいろなことを真剣に考え、どんな生活をしていきたいか自分自身のはっきりとした目標をもつことが大切です。



■以下の項目を使い、現在の自分の学習に対する姿勢を見つめ直し「具体的な取組の改善点」や、「気持ちの面で成長すべき点」を確認しておきましょう。

☑ 学習の自己点検

自分にあてはまると思う項目をチェックしてから家族に見せてください。そして保護者や兄弟などに経験を聞いたり、改善する方法について相談にのってもらったりしましょう。

- ア. スマホや携帯、または周囲のことが気になって学習に集中できないことがよくある。
- イ. 学習習慣が身につけていなくて、机に向かってもすぐに勉強にとりかかれぬ。
- ウ. 学習の予定を立てるのが苦手、または予定を立てても計画倒れになってしまう。
- エ. その日の授業や翌日の授業を考えた家庭学習の仕方になっていない。
- オ. 勉強の仕方がわからなくて困っている教科がある。
- カ. 教科の好き嫌いや得意不得意があり、苦手な教科の学習を避ける傾向がある。
- キ. 授業への集中が続かず、最後まできちんと集中して受けることができない。
- ク. 作業やノートをとるのが遅く、先生の大事な説明を聞き逃すことがある。
- ケ. 授業への参加態度が消極的で、ほとんど発言をしていない。
- コ. 忘れ物や準備不足などで授業に差しつかえることが多い。

→裏に続きます。

☑ 学習に対する意識

中学校で学習することの意義についてあなたはどのように感じていますか。下の表に○をつけて、今の自分の気持ちを確認するとともに、これからどのような気持ちになりたいかということも考えてみるとよいでしょう。

また、友達や家族、先輩などにもどう思うかを聞いたりして、自分なりの「学習することの意義」を見いだしていくことができるように考えを深めていきましょう。

	その通り と思う	ほぼ そう思う	あまりそう 思わない	まったく そう思わない
自分の特技につながるから				
人格形成に大切だから				
学習はおもしろいから				
他人と差をつけるため				
社会人としての基本だから				
自分の特徴を伸ばすため				
入試に役立つから				
働く上で役立つから				
学習の意義が理解できない				